

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 3 月 1 日 (2007.3.1)

【公開番号】特開 2006-148358 (P2006-148358A)
 【公開日】平成 18 年 6 月 8 日 (2006.6.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-022
 【出願番号】特願 2004-333630 (P2004-333630)
 【国際特許分類】

H 0 4 L 12/28 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 L 12/28 2 0 0 M

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 1 月 17 日 (2007.1.17)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 2 2 】

本発明の実施の形態では、ネットワークインタフェース 5 A、5 B、ドライバソフトウェア 6 A、6 B は何れも一般に販売されているものを使用している。オペレーティングシステム 1 0 としては、例えば L i n u x (登録商標) を使用する。この L i n u x 及びドライバソフトウェア 6 A、6 B は I P (Internet Protocol) 7 と連携し、通信データ取得部 8 を実現する。この通信データ取得部 8 を L i n u x では「プロミスカスモード」と呼び、自ノード宛でなくてもデータを読み取ることができる。この機能によりネットワークインタフェース 5 A、5 B を介してオンラインシステムネットワーク 1、2 を流れる通信データを取得することができる。オペレーティングシステム 1 0 にこの通信データ取得部 8 を有するものであれば、他のオペレーティングシステム 1 0 でも本発明の実施の形態は適用できる。オペレーティングシステム 1 0 として、例えば W i n d o w s (登録商標) の「スニファモード」を用いて通信データ取得部 8 を実現するようにしてもよい。このモードは、アナライザの機能を有するソフトウェアにより動作するものである。